

山行報告書

日時	2018年 8月11日(土)~16日(木)		天候	概ね晴れ、13日は小雨
山名	北アルプス(烏帽子岳・水晶岳・鷲羽岳・雲の平縦走)			
CL	汗P	参加者	岡P(SL)、高B(涉外)、ザック(記録)、坂P(写真)、前P(会計)、K原(会員外)	
(コース)	<p>8月11日(土) 移動日:博多9:10=のぞみ16号=名古屋12:31・13:00=しなの13号=松本15:03・15:08=信濃大16:30=ジャンボタクシー=七倉山荘17:00</p> <p>8月12日(日) 起床3:49 - 朝食4:35 - ゲート開放5:30=タクシー分乗=高瀬ダム5:45 - 出発5:48 - キャンプ場5:58 - 登山口6:10、小休止 - ブナ立尾根(小休止6:50、7:30、8:10、8:50、9:30:三角点、10:10) - 烏帽子小屋11:01 昼食 - 出発11:50 - 前烏帽子岳12:02~12:15 - 烏帽子岳(2628m)12:31~13:21 - 前烏帽子岳13:33~13:52 - 烏帽子小屋(2520m)14:03</p> <p>8月13日(月) 起床4:30 - 出発5:03 - (小休止6:10、6:40、7:20、8:00) - 野口五郎小屋(2872m)8:34~8:51 - 野口五郎岳(2924m)9:04~9:14 - 真砂岳(2862m)9:40~9:44 - (小休止9:51、10:40、11:25、12:05) - 水晶小屋(2906m)12:28</p> <p>8月14日(火) 起床4:00 - 水晶小屋5:00 - 水晶岳(2986m)5:39~6:14 - 水晶小屋6:42、朝食、出発7:15 - 岩苔乗越、小休止7:48~8:00 - 祖父岳(2825m)、小休止8:36~8:54 - 9:35小休止 - スイス庭園9:55、小休止 - 雲の平山荘、小休止10:25~10:42 - 11:35昼食 - 小休止(12:30、13:20、14:00) - 薬師沢小屋(1927m)14:25</p> <p>8月15日(水) 起床4:00 - 食事5:00 - 出発5:34 - 小休止(6:00、6:45、7:26) - 太郎平小屋8:12~8:29 - 小休止(9:05、9:55、10:45、11:35) - 折立登山口11:54 - 折立13:00=バス=富山15:00 - 入浴 - 富山17:10=富山鉄道=金沢18:18</p> <p>8月16日(木) 移動日:金沢9:53=サンダーバード16号=新大阪13:32・13:42=のぞみ23号=博多15:10</p>			
(コメント)	<p>8月11日(土) 晴れ 全員早めに博多駅に付き列車に乗り込んだ。徳Bが直前に体調不良で参加できなくなり、キャンセルした席に若い娘が乗ってきた。ピンときたザックが、「いつ、この席を取ったか?」と聞いたら、「空気がなくて、夕方の列車で行く予定だったが、二日前に、検索したら偶然空気が出来たので予約した。」とのこと。彼が名古屋に転勤し遠距離恋愛になったので、休みを利用し会いに行くのだそう。徳Bの体調不良で、遠距離の若い二人が半日早く会えるなんて、キュービッドも味なことやるもんだ!ん、...? 徳Bはキュービッドにも見放されたということか!? 南無阿彌陀佛南無阿彌陀佛! 迷わず成仏してくれ!</p> <p>七倉山荘はよかった。清流のそばのテラスで焼肉とビールの夕食。時間制限なしでゆっくりおしゃべり出来た。これなら、2時間早く博多を出発すればよかった。会話のごく一部を紹介する。高B「涉外って何すればいいんですか?」汗P「うーん、ま、その他諸々のことをやってもらうというか。」高B「諸々って何ですか?」汗P「ま、臨機応変に、必要に応じて。」意識すれば、「特に仕事はないけど、役無しというわけにもいかないので。」ということですか。部下のいない課長とか部長とかいうあれですか。ちなみに水は蛇口から出るものを飲むことができ無料。</p> <p>8月12日(日) 晴れ 4時45分から朝食だったが、早めに並んでたら10分早く食事にありつけた。納豆に海苔に鮭の塩焼きに味噌汁にご飯! だけでなくヨーグルトにオレンジジュースに焼き立てクロワッサンにミルクも付いている。美味かったがおなか一杯。アルプスを財力で制覇することに決めた4名は1080円の弁当を受け取る(クロワッサンとオレンジジュースをテイクアウトすればよかった)。 山荘すぐそばのゲートが開くのが5時半。ジャンボタクシーやタクシーで乗り合わせて、登山口の高瀬ダムまで行く。ここから、日本三大急登のブナ立尾根を目指す。ブナ立尾根の他は、甲斐駒への黒戸尾根、谷川岳への西黒尾根だそう。確かにきつかった。それに暑かったし、汗も半端ねえ! 汗リダーがバンダナを絞る回数も半端ねえ! 前Pが「それ汗?」と聞く。なんで分かりきったこと聞くかな? おしっこのはずねえだろ! 頭からおしっこする人間見たことある? それにしても、アルプスで2L近く水飲むとは思わなかった! 途中で、単独行の男性から、「アゼリアの方ですか?」と声が。9月から入会予定のY坂さん。一度例会に来て、この山行のことを知っていたそう。水晶岳までは同じ行程でそこから引き返すそう。 烏帽子小屋に着き昼食。Y坂さんが食べた小屋のカレーは美味そうだった! 今回みたいに、昼頃には山小屋に着く、あるいは通過する時は、万が一の行動食を保険に山小屋の食事を当てにすれば、少しでも荷物を減らせるし、おいしいものが食べられるかも! 食事後に、アタックザックだけで烏帽子岳ピストン。重い荷物から解放され天国じゃ! と思う間もなく、汗Pと前Pが突如田中陽希と化し、走り出した。「うそやろ!」と思いつつ後を追ったが足が重い。しかし、それは彼らも同じで、わずか10mで田中陽希の物まねは終わった。烏帽子岳は名前の由来となった形がユニークで、百名山ではないが、良き山! 小屋からすぐ近くのピークは前烏帽子! うっかりここで引き返さんように! 山頂付近は、あまりスペースがなく、岩壁に張り付いて記念写真。烏帽子小屋では水は1L200円。</p> <p>8月13日(月) 雨 朝食は摂らずに5時出発。この日の予報は午前中雨(開いた傘マーク)。7時頃に小雨がパラつき始め、レインウェア着用! 上着だけの人と上下着用の人に分かれる。ザックはスパッツ着用してたので上着だけ! この後ずっと雨だったが、本格的な雨予報が小雨くらいで済んだので、まあよしとしよう。とはいえ、ガスのために景色がなかったのは残念至極。水晶小屋に着いてから、昨日と同じくアタックザックで水晶岳ピストンの予定だったが、中止! なんも見えんじやしょうがない。 天候のせいもあり、その後、水晶小屋には徐々に人があふれ始めた。この辺りにはスペースが全くないため、テントが張れない。小屋どまりしかない。アボなしで来る奴らを受け入れ、定員40人の小さな小屋が最終的には100人以上の客であふれた。小さな布団2枚に5人! 両隣が新垣結衣と石原さとみならいいけど、臭い男に挟まれて眠れるはずもない。食事も、4回に分けてカレーを食べる羽目に。我らの部屋イワヒバリ</p>			

は食事場所の前！うるさい物音をずっと聞き続けなければならなかった。しかも、食事場所の土間に隣接した名ばかりの乾燥室が100人の持ち物であふれ、火事の危険があるので、石油ストーブを土間に出してあるから、暑くてたまらん！トホホのホ(´ ڀ `)！天は我々を見放したか！

アポなしで来やがった奴らを呪いながら眠りについた！正確に言うと、眠ろうとしたが眠ること能わず！水晶小屋では「水は100円で500mlだけにして下さい。」と書いてあったが、前Pはペットボトル3本を満タンにしていた。泣く子と地頭と前Pには勝てぬ！（実は、不肖ザックもペットボトル2本に入れたから似たようなものだ！。しかし、僕が50歩なら前Pは100歩！僕が目くそなら前Pは鼻くそ！罪が重いのは前Pの方だ！？）水の問題もあるが、水晶小屋は烏帽子岳、雲の平、鷲羽岳・黒部五郎岳などからのルートが交差する言わば交通の要衝であるのに、狭い場所に立っているため、シーズンの週末は芋の子を洗う状況となる。とても皆様には推奨できない(座布団くれ！)。しかし、小屋を起点とした水晶岳へのピストンは外せないの、水晶小屋をスルーする計画はニコニコペースのおじさんたちにはちと難しいか・・・(ハムレットの心境じゃ！)。

8月14日(火) 晴れ

どうせ眠れんのやし、早くから起きて準備！というか、荷物解く時間もなかったわけで、すぐ出れる。ザックを小屋の前に置いて、昨日登れなかった水晶岳を目指す。昨日のお詫びという訳でもあるまいが、出発時には掛かっていたガスも水晶岳に近づくにつれて薄れ、陽が差してきた。西穂、奥穂に次いで、槍ヶ岳が姿を現した時は感動した！うっすらと富士山も見えていた！行く手を見上げるとツインピークの水晶岳が！頂上では、槍ヶ岳などの反対側に巨大な山塊の薬師岳も！昨日無理して登らなくて大正解！滞在時間は当初の予定を大幅に超えた。しかし、この山行一番のハイライトとも言うべき時に、坂Pがわざわざ持ってきた一眼レフの大きなカメラを水晶小屋に忘れてきたのは何ともお気の毒！いるんだよね、ここの一番に弱い人って！

水晶小屋に戻り、簡単な朝食を済ませ、縦走開始。百名山の鷲羽岳は残念ながらスルー。無理すれば行けなくもなかったが、この判断も大正解！もし行ったら、薬師沢小屋で夕食前にビール飲んでた時降ってきた夕立が、雲の平からの夕立の下りで悪戦苦闘した我々を直撃したことだろう。山は無理しちゃいかん！余裕を持って行程を組むに如くは無し！

水晶岳山頂で、祖父岳から雲の平山荘まで一望出来たので、ルンルンですぐに着くとお思ったのに、いざ歩いてみると遠かった。途中で、ヘリコプターが頭上を飛んで行った。しばらくして、来た方に戻っていく。なぜか6年前の光景が蘇ってきた。五月の山行の最終日、五竜山荘から遠見尾根を経て下山する我々の上空を同じようにヘリが飛んで行った。前日の激しい雪嵐が嘘のように晴れ渡った上空を音もなく滑るように飛んでいくヘリ。白馬岳付近で全滅した福岡のパーティーの人たちを運んでいたと知ったのは下山してからだった。今回のヘリが三俣山荘で高山病のため重体になった人を運んでいたと知ったのは、翌日の富山の温泉にあった新聞でだった。「きれいな景色が見れてよかった！これがあるからきつくても山に登るんだよ！」などと口々に語り合う人たちの上を、ヘリが山で死んだ人を、山で死にそうになった人を運んでいく。なぜかそのシーンは記憶され、何かの機会に無声映画のシーンのように蘇るのだ。自分がヘリで運ばれる側になる可能性もゼロではないのに、山に行くのを止めることはない。人の世の営みは何時も説明のできない矛盾をはらみ、そして無常である。合掌！

あこがれの雲の平は少し期待外れだった。スイス庭園とかアルプス庭園などを通ったが、チングルマなども盛り過ぎて花卉もなく、満開の時に来てたらと思うしかなかった。池塘にうっすらと水晶岳のツインピークが映っているのに気付いた坂Pはさすが写真家！才能はあるのに、なんで水晶岳にカメラ持って行くの忘れたかなあ？

雲の平山荘は、天国の雰囲気があったが、期待したソフトクリームはなし(グスン)。去年の徳澤園には有ったのに(ロケーションが違うのでやむを得ないのだが...)。ここで、前Pが手袋なくしたとしゃべっていたが、牡蠣小屋でカギの紛失未遂事件を起こしたザックや岡Pが、「慌てなくていい！必ずあるから。」と慰める。特に、昨年槍ヶ岳の下りに徳澤園での前Pの手袋紛失未遂事件(ソフトクリームを食べた木の袂に落ちていた)を記憶していたザックの「自分の動線をたどってみたら。」というアドバイスは的を射ていた。キーホルダーを買う時に外して置いたままだったので。前Pに満面の笑みが戻った。

山荘から先の下りはかなりハードだった。レインウェアを着る必要がない程度の小雨が降っただけでも、ゴロゴロした岩が滑りやすくなっており、体力を奪う。尾瀬の燧ヶ岳の下りを思い出した。途中で小休止していた時、追いついてきた老夫婦の旦那が滑って転がり落ちた。とっさに岡Pが腕をつかんで止めたため事なきを得たが、さもなくば大けがをすところだった。というか、このおっさん、僕の方に落ちてきたので、岡Pがいなかったら、僕が大けがしてたかも・・・。

スパッツを泥だらけにして、やっとこさ薬師沢小屋に到着！途中からせせらぎが聞こえ、清流の上に架かったつり橋を渡って玄関先に着くと、冷たい水を流しっぱなしで、ビールやジュースを冷やしている。ここは天国だ！すぐに荷物を部屋に置いて、ビールで乾杯！流しっぱなしの水はもちろんただ。洗面所の蛇口も砂が入り込むのを防ぐため開きっぱなしなのだが、あるおばちゃん(前Pではないことを彼女の名誉のために明言しておく)は、律儀に蛇口を閉めるので、張り紙を示して止めなくていいよと教えてあげた。ここは水晶小屋と違い、乾燥室もしっかりしており、豊富な水で、シャツやコンプレッションタイツを洗って乾かせた。翌日が快適だった。

8月15日(水) 晴れ

5時から朝食。ご飯をよそってくれてた前Pの手から、お櫃の蓋が滑り落ち、高Bの味噌汁直撃！破壊力はどこに落ちるか分からんテポドンとは大違いで、あろうことか味噌汁は狙いたがわず高Bの股間直撃！高Bはこの日、ずっと味噌汁の良い香りに包まれて行動するはめになった。

天気は素晴らしく、景色を堪能しながら木道を快調に進む。太郎平小屋で奇跡が起きた！薬師岳から太郎平小屋に降りてきたあすなろグループとピンポイントで出会ったのだ。抜きつ抜かれつ下山となった。それにしてもこの下りも長かった。7年前五色ヶ原から薬師岳を経てここを下った時のことを思い出したよ。剣岳がくっきり見えて少し元気回復！

折立に着いて、自販機に殺到したが、コーラはもちろん他の炭酸飲料もすべて売り切れ！考えることはみな同じだね。ここで、大変な事実が判明！汗Pリーダーの調べでは、13時30分が最終バスとのことだったが、最終は13時！早めに着いたので大事には至らなかったが、予約していたあすなろと違い、出たとこ勝負のアゼリアはザック並べて順番取り。無事乗車できたが、ほぼ満席だったので、予約した方が無難そう。タクシー1台2万円で、人数次第だが一人3500円のバスとそれほどコスパは変わらないのでそういう選択肢もある。

前回はジャンボタクシーに5人で乗ったので一人4000円だった。富山駅まで2時間だが、着く直前に土砂降りの雨が！しばらく、駅前で立ち往生したが、雨雲レーダー(これお勧め！通り雨が降り続かが一目瞭然)の情報通り、通り雨だった。APAホテルの温泉(駅前のAPAホテルではないので要注意！)で汗を流す。高Bの味噌汁の臭いも取れ一安心。付けたまま、帰ったら、場所が場所だけに、最近出来た恋人から「どこでこの味噌汁の臭い付けて来たの？」と厳しく詮索されたに違いない！金沢に移動し居酒屋での打ち上げとなった。岡P、高B、坂Pは富山で500円傘購入したが、開くことなくザック(僕にじゃなくそれぞれのザック)に括り付けたまま。

8月16日(木) 晴れ

金沢駅でお土産や弁当を買って、サンダーバードに乗車。汗Pとはここでお別れ。この後、汗Pを悲劇が襲う！我々が出た後、金沢周辺を大雨が襲い、電車がすべて止まったらしい。一か月松本に居座って山三昧の生活をする償いで、汗Pは奥さんと金沢で待ち合わせだったのだが、足止めを食らって我が博多に着いた時も金沢にいたらしい。ご愁傷様！

新大阪での乗り継ぎ時間が10分しかなく、遅れたら博多まで立ちっぱなしかもしれないので、着く10分前にはドアのところに行く作戦！5人で一塊になって改札を抜けホームへ！そこに、のぞみが滑りこんできて無事乗車！今回の山行で、最もチームワークが発揮された瞬間だった！しかし、金沢からの特急が定刻に着いたからよかったが、そうでない可能性もあるので、駅探とかが勤める乗り継ぎよりもゆとりを持った方がよいかも。大きな荷物抱えて立ちっぱなしはきついもの。岡Pが小倉で下車し、残り4人は博多で解散。

バーバリー戦記

11日朝、最近では最も実績のあるグリーンのバーバリー(今が旬！巨人でいえば岡本だな！)を履いていざ出陣！この日は移動日だが、晴れで問題なし。12日も晴れ。急登では汗ダラダラでむしろ曇ってほしいくらい。烏帽子小屋に着いた頃から少しガスがかかってきたが、雨は降らず。烏帽子岳ピストンも問題なし！夜中に結構強い雨が降って、屋根がパラパラと音を立てていたが、痛くもかゆくもない。屋内に居る時は、バーバリーも休養に当てたいに違いない。

13日は予報がばっちりの雨(開いた傘マーク)。ここが、力の見せ所とばかりに、バーバリーも頑張ったが、レインウェアの着用は避けられなかった。しかし、予報よりは降り方も少なく、他のメンバーもバーバリーの効果に関しては好意的な見方をしてくれたのだが、水晶岳に登れなかったのは、輝かしいバーバリーの歴史に影を落とした感否めない。

14日は、朝から良い天気で、少し掛かっていたガスも水晶岳頂上に近づくとつれ晴れ渡って、頂上では槍ヶ岳や穂高、薬師岳は言うまでもなく、富士山までがはっきりと見ることができた。この成功は昨日の不振を補って余りあるものだった。薬師沢小屋に着いて、十分ビールを飲み終わった後に夕立が来たのはご愛敬。小屋にいる間はバーバリーにとって次の出番に備える休養の時なのだ！

15日は、下山してバスに乗るまでは完ぺきな晴れだったが、富山駅の手前で激しい通り雨となった。無事に山を下り、バーバリーもホッと一息ついたのだろう。しかし、4日間の縦走をたった一人で乗り切ったのだから称賛に値する(誰じゃ？5日間パンツ代えなかったの？とか無粋な質問する奴は？)。温泉で汗を流し、5日間の連投を耐え抜いたグリーンからオーソドックスなイエローのバーバリー(巨人でいえば実績十分の阿部だな！)にタッチして、金沢に移動する頃には雨は上がっていた。

バーバリーの効果をまざまざと認識したのは、我々が金沢を後にしてから。何の問題もなく晴れの天気だったが、汗レーダーにメール送ったら、金沢は大雨で電車がすべてストップし足止めを食らったとのこと。立ち去った後まで威力を発揮し続けるわけにはいかず、汗レーダーには可哀想なことをした。今回もバーバリーの大勝利！

アゼリアの皆様。どうしても晴れを呼び込みたい時は、このザックめに声をお掛けください。豊富な戦力をそろえたバーバリー軍団の旬の戦士を引き連れて駆け付けますから。



① 烏帽子岳をバックに



② 野口五郎岳



③ 烏帽子から水晶へ



④ 水晶岳から見る槍穂



⑤ スイス庭園(背景:水晶岳)



⑥ 薬師沢小屋への三途の川

費用概算

(交通費/人) 博多駅からの新幹線等往復運賃:40810円(タクシー、ローカル線・バス運賃等は共通経費で)
(その他費用/人) 宿泊費(山小屋4泊、金沢ゲストハウス1泊)、現地交通費、入浴料、打ち上げ費用等:約53000円